

ヨナの再出発

ヨナ書 3 章

時に主の言葉は再びヨナに臨んで言った、「立って、あの大きな町ニネベに行き、あなたに命じる言葉をこれに伝えよ」。(1、2)

大きな魚のお腹の中で悔い改めの祈りをささげたヨナに対して、主は魚に命じてヨナを陸地に吐き出させました。ヨナが生きるのも死ぬのも主の御手にあつたのです。

そのヨナに向かつて主はもう一度同じ命令を与えられました。「立って、あの大きな町ニネベに行き、あなたに命じる言葉をこれに伝えよ」。一度は神の命令を退け、自ら主の働きには不適合であることを証明したようなヨナに主は声をかけられたのです。人間の世界ならば、「あの人はダメだ」とレッテルを張られてしまい、二度と大きな働きに用いられることもないでしょう。ところが主は、そのような失格者を見捨てず、やり直しの機会を与えられたのです。全く不適合な者を用いようとされるのです。ヨナが神の命令に従ったとき、ニネベの人々の中に大きな悔い改めが起こり、王をも巻き込んだの大リバイバルとなりました。ヨナに能力があつたからではありません。主の御手に自らを委ねて献身した器を主が豊かに用いてくださったからです。自らの無力さをわきまえつつも、尻込みすることなく勇気をもつて主に従っていくとき、そこに驚くような主のみわざが起こるのです。

わたしたちも、主の働きのためには不相应な者たちです。けれども主は、わたしたちを主の働きのために用いてくださいます。この主の招きにお応えしようではありませんか。